

2024 年度 グローバルラーニングセンターFD 活動方針・活動計画

グローバルラーニングセンターでは、全学の FD 方針に基づき、以下の取組を実施する。

1. 日本語 S コースの構築

日本語 S コースは、留学生の増加に伴い立ち上げた新たなコースである。まず、計画立案（4 月）をしたうえで、目的の共有と分析方法の検討を行う。そして教員及び学生へのアンケートおよびインタビュー調査、2024 年度前期担当教員との意見交換会の実施（5 月～7 月）を経て、調査結果の検討（8 月～11 月）を行う。調査結果を踏まえ、改善点の抽出を行い、後期の S コースにおいて、教材および教育方法へ一部反映させる。さらに、次年度に向けて、シラバスおよび教材へ反映（12 月～翌年 2 月）させる予定である。

2. 語学授業 105 分対応

日本語、英語、中国語などの語学科目に関し、13 週シラバス案の検討（4 月～5 月）を行う。まず、到達目標をもとに、検討すべき課題と利点を考え、どのように 13 週に組み替えるかを検討する。そして、課題と利点をリスト化（6 月～7 月）した上で、授業デザインシート作成（9 月～11 月）する。さらに、学びを促す 105 分授業デザインに関する情報や Tips を集める。授業デザインシートは共有し、相互に確認し合う。最終的に、シラバス作成に反映させる（12 月～翌年 2 月）。

3. 国際共修 Can-Do

まず、国際共修科目を担当する教員が、自らが担当する国際共修科目の授業内容を紹介しあう。特に、国際共修のカギとなる「教えあい、学びあう」授業スタイルに注目する（4 月）。そして、国際共修科目の授業内容に基づき、「共通する Can-Do」を検討する（5 月～7 月）。加えて、国際共修科目の授業内容に基づき、「科目独自の Can-Do」を検討する（9 月～11 月）。最終的には、「共通する Can-Do」と「科目独自の Can-Do」に則した授業内容を、担当する科目の授業内容ごとに分類・リストアップしながら検討する（12 月～翌年 2 月）。